

「主はおられ、主は来られる」
使徒の働き1章9～11節(宣教要旨)
説教者 A.中村

みなさんは、主の年2020年、今日、今この時に、主が来られる準備はできていますか？

私たち人間は、生まれながらに罪を持ち、真っ暗な闇の中を歩むような、弱く卑しい存在です。しかし、今このみことばを聴く私たちには、希望があります。どんな希望なのか、私たちは何をすべきなのでしょう……

〈イエス・キリストがこの世に来られた目的〉

約二千年前、神であるイエス・キリストが、この世に来られた目的はなんだったのでしょうか。ヨハネ18:37でイエスは、「真理について証しするために生まれ、そのために世にきました」と、はっきりとこの世に来られた目的、意味を教えてください。

真理とは？…その中心には、イエス・キリストによる罪の贖い、十字架による死と復活、そして救いがあります。イエス・キリストがこの世に人として来られたのは、苦しみを受けられ、十字架にかけられて死に、そしてよみがえるためでした。そしてそれは、生まれ持った罪を抱えていて、暗闇を歩み続けていた私たち人間を救い、神のもとへと贖い出してくださるためでした。その救い主イエス・キリストは、死んでよみがえられ、天に昇り、今も生きて働かれておられます。

そして、私たちは主が今ここにおられるという臨在信仰の中を歩んでいます。主が私たちとともにおられるということと、天におられるということは、何も矛盾していません。神である主は、どこにでもおられるのです(エレミヤ23:23,24)。そして、主イエス・キリストは、いずれまた私たちのところに来られる、とご自身が語られています(マタイ26:64,ヨハネ14:3)。

〈主が再び来られる再臨の時にある死者の復活〉

主イエス・キリストが復活されたことはもちろん、すでにあつたことであり歴史的事実ですが、主の再臨の時、私たち主を信じる者、信仰者も復活がある、と聖書は述べています。主が再び来られるその時、聖書ははっきりと、信仰者の復活を

約束しています(イザヤ26:19)。死人が生き返り、屍がよみがえることが語られています。主を信じる信仰者たちの復活の約束もここにあるのです。

〈再臨の時の姿〉

人格的な姿(ヨハネ14:3, Iテサロニケ4:16,17,使徒1:11)。

目に見える肉体的な復活の姿(「あなたがたが見たのと同じ有様で」使徒1:11、「偉大な力と栄光とともに来るのを見るのです。」マタイ24:30)。

〈再臨はいつか〉

主イエスは、再臨の時が確実に来る！ということ語られています、その時がいつかは、はっきりと啓示されませんでした(マタイ24:36-44)。そしてその「時」に対して、聖書に記述がないからこそ、主は何度も何度も、用心する必要があると強調をされました(マタイ24:44,50,25:13,マルコ13:35)。

〈私たちに与えられている希望……主はおられ、主は来られる！〉

私たちは現在、それぞれに苦しみや不安、試みの中を歩まされています。どこに希望を置けばいいのか分からない、手探りの日々を送っています。

しかし、私たちにはみことばが与えられています。毎週の礼拝、日々の一人一人のみことばと祈りの時間、主はいつも語ってくださいます。私たちには確かな希望があります。再び私たちのところに来られる主が、今私たちを生かし、私たちと今も共にいてくださいます。

神は、昔も今もこの先もここにおられ、天にも地にも満ちておられるのです。その神を見つめ、私たちにはいつか分からないその終わりの日に、必ず私たちのところにまた来られると約束された主を待ち望んで歩みませんか。

日々の生活や礼拝のすべてを通して、偉大な栄光を帯びて再び来られる主を待ち望み、神である主をほめたたえて生きていきましょう。

私たちの主イエス・キリストは、今おられ、やがて必ず来られます。皆さんの信仰を、今こそ、主が強めてくださいますように。

